



発行人 福島県教職員組合
 発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
 [定価一部 20円]
 編集・責任者 國分俊樹
 e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
 http://www.f-t-u.or.jp
 (この購読料は組合費に含まれています。)



コロナ禍でも学びを!

～大好評 オータムセミナー(10月14日)初のオンライン開催～

福島県内でもコロナ感染報道が毎日のようにあり、不安な日々が続いています。学校では、感染拡大防止策と感染者が出た場合の対応に配慮しながらの教育活動が続いています。

教職員組合においても、大人数の集会を見合わせてきましたが、今回は、県教組初のオンラインでの学習会を開催しました。各支部では、支部学習会として企画するなど、コロナ禍における新しい取り組みの方法が見えてきました。全体でおよそ70人が視聴し、盛況のうちに終えることができました。今回の学習会の登録手続きで、分かりにくい部分もありましたので、11月14日の県教研の際は、より分かりやすい形に改善していきます。



コロナ禍での現状と課題について講演する
徳永恭子さん



組織拡大のポイントと方法について講演する
関 美紗子さん

講演Ⅰ「コロナ禍で増えているDV・虐待・暴力」

講師は、大妻女子大学人間生活文化研究所研究員の徳永恭子さん。コロナ禍で社会全体の価値観そのものが変化してきたことや、コロナ禍で増えてきているDV・虐待・暴力の実態等、数々の情報をもとに、課題や対策・対応について学習しました。



青年部常任委員とオルガナイザーによる
楽しい演習

講演・演習Ⅱ「楽しみながら組織拡大をすすめよう！」

日教組の関 美紗子さんを講師に、青年部常任委員と支部オルガナイザーの方の演習を通して、組合加入の働きかけについて楽しく学びました。気後れしがちな組織拡大の取り組みが、楽しくなる方法等を学習しました。

参加者からの感想

講演Ⅰ

- 身近な事ではないなど安易に思っていました。しかし、実際のデータを目の当たりにして目の前の子どもたちは大丈夫なのか、一人一人もっと丁寧に見てあげなければならないと気が引き締まりました。
- ストレスを抱えている子どもに対してのアドバイスをさらに聞きたかったです。
- 暴力の源、支配と差別、文化・風習のところが更に深く聞きたかったです。教室での教師の暴力、生徒同士の暴力のお話に共感しました。「子どもの権利条約」をいかしましょう!

講演・演習Ⅱ

- 楽しすぎて、引き込まれてしまいました。
- 対面で参加しているみなさんの楽しそうな雰囲気伝わってきました。一人ではないんだ!と改めて感じられたセミナーでした。
- 役割演技の部分は、Web参加者にとっては、難しかったですね。
- 支部で集まって視聴し、3人で演習できました。これは新しい学習会のスタイルですね。スライドの資料がほしいです!(支部に送ります。)
- 組合に入らない理由についての聞き取り方について更に詳しく聞きたいと思いました。

東日本大震災 10年目の今

原発災害学校現地調査報告①

教育研究所研究員 大槻 研 司

東日本大震災から、まもなく10年目を迎えようとしています。教育研究所として、新聞やテレビなどマスメディアの報道では伝えられていない学校の状況を把握するために、昨年からは現地調査を行っています。教育新聞を通じて、組合員のみなさんに原発災害における各学校の状況の一端ではありますが報告します。

■富岡第一・第二中学校 三春校（第一・第二小学校も同じ校舎で授業）

	震災前	震災後 (2020年10月26日現在)	今後の見通し
子どもたちの実態	2010年度生徒 一中： 259 二中： 291 一小： 411 二小： 516 計： 1,477	原発災害により2011年8月に、三春町の曙プレーキ敷地内に開校。 三春校の中学校の生徒数は1年：0、2年：3人、3年：0、特支：0、計3人。職員数10人（うち双葉出身は1人）。小学校（三春校）の児童数は11人、職員は13人（うち双葉出身は1人）。 富岡校の児童生徒数は、小学校26人、中学校15人。徐々に増加している。保護者の仕事の関係で、富岡校に転入する子どもが多い。	三春校は2021年度で閉校の予定。2022年度から一小と二小、一中と二中がそれぞれ統合され、富岡校（元富岡一中）の校舎を使用する。 元の一小・二小・二中の校舎は取り壊された。 三春校から富岡校へ移る子どもは、2人の見込み。
学校施設の様子		三春校校舎は曙プレーキ三春工場の土地と建物を活用。事務棟を改装して、教室として利用している。設置の決定から短期間で準備を進め、2011年8月に開校した。 特別教室が少なく、理科、美術、技術・家庭を1つの教室で行っている。 体育館は2015年6月に新設（プレハブ）された。夏はとても暑くなり、日中は40℃以上になることもある。プールがないため、磐梯熱海や船引の施設を利用している。18年度から富岡校が新設されたため、19年度にはプールを利用するために1日ばかりで富岡校に行った。	
自治体の復興施策		富岡校の再開時から富岡町の施策として「ライブ授業」（遠隔合同授業）が行われている。三春校と富岡校とを通信機器でつなぎ、授業を同時に行った。その他にも「サテライト授業」として、三春校の教師が富岡校に国語と数学の授業を配信して行った。「サテライト授業」は富岡校に国語と数学の教員が配置されなかったため、苦肉の策として実施したものである。 19年度は国語、数学、英語の三教科で、1年生を対象に「ライブ授業」を月に1、2回実施した。「少人数教育に応じた教授法」の発表のためであった。 20年度はコロナ禍のため、授業の進度を優先し「ライブ授業」を自粛している。 小学校は、20年度も富岡校や葛尾小と「ライブ授業」を行っている。お互いに少人数のため、多様な考えに接するために有効な手段である。	
富岡校や小学校との交流		18年度は、三春校の4人の教員が週1回だけ富岡校へ行き、授業を行っていたが、組合を通して改善を要求し、教員が配置され19年度からなくなった。さらに20年度になり、免外担当が少なくなった。 子どもの数が減少してきたため、20年度は、中学校の教員が小学校5・6年生の授業にもT2やT3として参加している。また、中学校の美術は小学校教諭が、小学校の5・6年の音楽は中学校の音楽教諭が担当している。	



工場跡（事務棟）を利用した校舎



一中・二中の3人が学ぶ三春校の教室



理科・美術・技術・家庭すべて同じ特別教室



県教組教育課程編成推進委員会
イメージキャラクター
「元気にカエルくん」



やってみました!「学校あるある」①

学校現場では、昨年度末の一斉休校後や4月以降の臨時休校時に、様々な工夫をしながら、「例年通り」ではない学校運営が行われています。

このような中、昨年11月に県教組教育課程編成検討推進委員会が作成した職場討議資料「明日のために『学校あるある』を見直そう!」(右)をもとに、学校行事等を見直してみたという声が県教組に多く寄せられています。

今回、情宣担当菊池が、この資料を作成した委員の一人である佐藤禎仁さんにインタビューしました。



働き方改革=学校行事の削減なのか

—「学校あるある」は、行事の削減のためのものという認識ですか?

いいえ、それは違います。私たちにとって大切なことは、「いい授業」を提供することです。そのためには何と言っても「準備」が必要なのです。今の学校で教材研究をしっかりとれる時間があるでしょうか。学校現場に時間的・精神的な「ゆとり」を生み出すために、「あたりまえ」に行われてきた行事を見直すことが目的です。

—授業を充実させる時間をいかに確保するか、ポイントはありますか?

学校教育の中で、「あたりまえ」に行われている活動・仕事には、「やったほうがいいこと」、「やってもやらなくてもいいこと」、さらに「やらないほうがいいこと」があります。「やってもやらなくてもいいこと」、「やらないほうがいいこと」を削減し、「やたっほうがいいこと」を充実させます。でも、それを見極めるのはなかなか困難なことです。だからこそ、私たち自身が学ばなければなりません。それが組合の教研の場です。

自分たちで作る運動会

—具体的にどんな取り組みができますか?

私の小学校では、春にできなかった運動会を秋に行いました。

準備期間があったので、子どもたちに運動会のチャンス走をどうするか考えさせました。国語の話し合いの学習で議論し、総合の時間では実際にやってみて課題を見つけ、改良を重ねました。どの子にもルールは理解できるか、見ていてわくわくするか。そもそもチャンスがあるかなど。時間はかかりましたが自分たちで決めたことなので、みんな心底楽しんでいました。

私たち教員は、つい「見栄え」とか「効率」とかを優先し、大人主導で物事を決めてしまいがちです。しかし、それでは子どもは育ちません。行事を通して人権意識を育み、自分たちのことは自分たちで決める主体的な学びを体験し合う。「やらされる運動会」から「創りあげる運動会」への転換が大切です。予行はやらないし、練習も最低限。開閉会式の練習も一発でできました。なにしろ子どもたちは何回も運動会をやっているのですから。

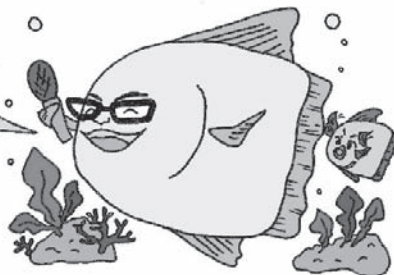
行事のひとつである運動会が終わって、ある5年生がつぶやきました。「今年の運動会は今までで一番楽しかった。」それぞれの学校現場でできることはあるはずです。そんな学校を創りあげていきましょう。

11月28日(土)と12月12日(土)に
「『学校あるある』オンライン討論会」
を実施します!どうぞお楽しみに!



本公下書記次長がゆく

おじゃマンボウ訪! Part ④



今回も新しく組合に加入した方のところにお邪魔しました!相馬支部のある中学校です。

郡山支部で臨採部に加わっていて、今年新採用となったTさんです。

☆組合に加入したきっかけを教えてください。

同じ分会で組合に加入していたある先生のお勧めで加入しました。今の時代は様々な点で大きく変化しようとしています。多様性を認め、持続可能な社会に変わろうとしている今、私たち教職員の「あたりまえ」も変わってきていると思います。今の教職員の多くは(私も含めて)「あたりまえ」のように自分を、家庭を、生活を犠牲にしていると感じています。その事を「おかしい」と言える、働きやすい労働環境をつかっていきたい!と考え、加入しました。

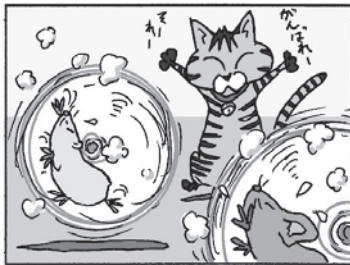


多くの方が自分たちの働いている環境に疑問をもち、よりよく変えていきたいと考えています。

教職員組合本部では私たちの労働・生活環境の向上のため、秋の交渉に向けて準備をしているところです。

皆さんの声を届けるためにも、是非同じ分会の仲間と話し合い、語り合って、本部・各支部へ声をお寄せください。

は学校で! Monster



知って安心 私たちの権利

～生き生きと働き続けるために～

権利は、あってもその内容を知らなければ使えません。必要な人が必要なときに、行使しやすい環境を、みんなで協力してつくっていきましょう。先輩たちが苦勞して一つひとつ勝ち取ってきた権利です。感謝しながら使い続けていきましょう。

【結婚休暇】

有給



- 日数 7日間 (週休日、休日を含まないで最大で11日間)
- 取得可能期間 結婚の日の7日前から結婚の日後、6ヶ月を経過する日まで。
- 内容 婚姻には、法律婚・事実婚の双方を含む。
結婚の日は、社会通念上の結婚式や婚姻届提出日等分割でも取得できる。

★解説 これは法律にはありません。全国的にはないところもあります。1969年に県教組の要求で県人事委員会規則でできたものです。そのときは5日間でしたが、その後7日間になりました。その後も取得しやすいように土日を含まないとか、分割取得可能等少しずつ改善されてきました。2019年1月1日からは、長年の要求が実現し、非常勤講師も取得できるようになりました。

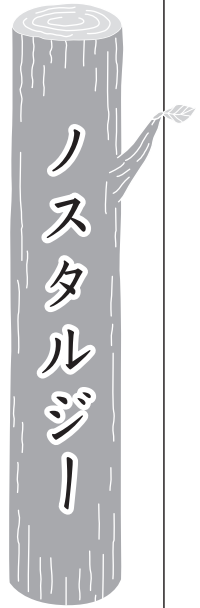
みんなのひろば

おすすめのお店

～原町 ton + bo～



ケーキといったら、絶対ココで買います。ミニストップの信号を目印に行くと黄色い外観のかわいいケーキ屋さんが見えます。2階ではお店で購入したケーキと珈琲セットが楽しめます。原町運動公園でめいっばいテニスを楽しんだ後に食べるケーキの味は格別です。
相馬支部「食いしん坊さん」より



今回のテーマは「自由」



一九七二年あさま山荘事件以来、学生運動は沈下していった。誰もがその方向性に疑問を感じたからだ。しかし、七十年代後半の大学構内にも、立て看・白、青、赤などのヘルメットをかぶった学生のアジテーション・学生集会・自治会活動など学生運動を普通に感じられる環境にあった。サークル活動も盛んで、ごく普通のサークルでも「青い空は」などの反戦歌を歌っていた。フォークの世界でも「友よ」の岡林から、刹那的といわれたかぐや姫やさだまさしのラヴソングが主流となってきた。それでも、かぐや姫の「あの人の手紙」は彼らの主張であり、ぼくらの心を震わせた。二十歳の時、市主催の成人式に仲間と参加した。君が代斉唱の場面があったが、ぼくらは着席したままだった。周りを見回すと着席している者も起立して歌っている者もいた。だからといって市当局からはなにもなかった。社会の厳しさも知らないまだ若造だったが、「おかしい、ちがうぞ!」と思ったことをそのまま表現でき、主張でき、行動でき、学ぶことができたのである。自由だったのだ。例えば、当時の四年生は授業料が年間三万六千円、三年生は九万六千円、ぼくらは十四万四千円、その下が十八万円である。四年間で授業料が六倍!この事実を知ったとき、素直におかしいと主張できたし、学生集会にも参加できた。

高校時代、東京教育大出身の教師がぼそっと「俺は○○大は勧めない」といった。なぜ?そのころはよく分からなかった。後になって自由が制限されているからだと分かったとき、ぼくは心が熱くなった。自由は破壊ではない。民主主義を支える力だと思ふ。自由に学び、考える中でぼくらは自分なりの「ここは譲れないもの」ができる。それは全共闘の時代から、いやそれ以前から現代まで続く自由を守ろうとする名もなき人たちの礎に他ならない。高校教師の言葉もこれだったのだ! (K・I)